

科目名		ディスプレイ実習 I			
担当教員		大沼 久子		実務授業の有無	有
対象学科		インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	1	開講時期
必修・選択		選択	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、 授業の進め方		基本的なDisplay・POP・ラッピング技術の習得と販売に繋がる演出力を、店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して学ぶ。 1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示し、評価、解説する。			
学習目標 (到達目標)		Display・POP・ラッピング技術の習得。販売に繋がる演出力を学び、商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。学校内スペースを演出し、空間装飾力・技術力を高め就業時の即戦力を養う。グループ作品を制作する中でコミュニケーション能力を養う。☑			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①商品装飾展示技能士テキスト（学科・実技） ②検定ガイドブック・ストアオペレーションハンドブック☑ ③おまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル ☑			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	①前期制作の椅子を演出 ・セールスポイント+用途 ・商品説明+生活提案			方法：販売につなげる演出方法 POPの表現 立体構成+生活提案の表現	
2	②平面構成 基本2種 ・コラージュ→実技（A2パネル演出） ・構成→撮影→企画書作成→校内展示			方法：コラージュで、基本構成を習得 実技で表現 作成方法の説明・解説・演習	
3	③ラッピング ・生活催事別のラッピング技法を表現 ・構成→撮影→校内展示			方法：ラッピングの基本～応用が理解できている。 作成方法の説明・解説・演習	
4	④POP ・丸ペン角ペンの使い方 ・基本～応用 用途別表現			方法：基本～応用の理解ができている。 小→大POP 用途別表現ができている。	
5	⑤生活提案別 表現 空間演出 (Halloween、Christmas、spring) 校内展示			方法：作成方法の説明・解説・演習	
6	⑥テーブルコーディネート 洋食、和食、基本のコーディネート 構成→撮影→企画書作成			方法：作成方法の説明・解説・演習	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			前期ではほぼ検定対策でした。検定学習は確実に実力がついています。後期はその基礎力をさらに高めた応用に移行し、完成度の高い演出を目指しましょう。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		ディスプレイ業界において、30年実務に携わる			